

区部会の活動状況説明

・ほか地区部会での代表的な活動状況紹介などの部会からの説明を交え、新会員の自己紹介でボランティア活動への現状報告や、思いを発言して頂きました。

出席者の7割の方がボランティア活動を実践されており、アンケート調

査結果でも今後「集会が必要」と言う意見が多く、この様なコミュニケーション手法を一例に食事会やニューススポーツ交流会など交流会の手法を検討・計画・実施に向けて、部会としての活動の輪を広げる必要を強く感じました。

北区7期会員交流会 カレッジ和室



ふれあい兵庫

福祉・健康フェアに参加

生5 - 兵 高田 隆三

こととして6回目になる「ふれあい兵庫福祉・健康フェア」が10月25日(土)JR兵庫駅南側のキヤナルタウン広場で開かれました。

このフェアはお年寄や障害のある方と区民の方々が楽しく、福祉や健康に関心を持つよい機会になるように楽しい催しが色々ありました。

パンジーの会では三島さん(福祉1期)ほか10名が参加、内4名はステージで行われる和太鼓演奏や吹奏楽など、プログラムの進行に合わせて舞台の準備・後片付けに終日忙しく活動をしました。

広場では福祉施設や各種団体によるバザー、軽食屋台、手話講習会などが開かれており、他の6名は場内整理とプログラムの配布を担当しました。

当日会場には車椅子での来場者が多数あり、それらの方々の誘導、通路の確保に注意をはらいました。

兵庫区会

リサイクル活動にひと役

ペットボトルいかにレース

生4 - 兵 室橋 雄三

兵庫区制70周年記念事業である第3回「ペットボトルいかにレース」が8月30日(土)晴天の兵庫運河のキャナルプロムナードで行われました。

レースは個人戦、団体戦でタイムの勝敗を競うだけではなく、環境省が提唱している容器包装リサイクル法に基づく環境意識の高揚も大きな目的の一つになっています。従ってレースに使用する「いかに」の材料は、自分で集めた使用済みのペットボトル、結束に使用する資材はビニールの紐のみで、またレースが終了すると参加者が各自でいかにを解体し、ペットボトルがリサイクルに回収されるまでを見届け、この時点ですべてレースが終了したことになります。

兵庫区パンジーの会では井内さん(美

工3期)ほか10名の方々が、いかにの解体に、駐車場の案内に、またパンフレット・アンケートの配布回収にと1日中汗を流しました。

なお環境省の発表によると全国の市町村が2,002年度に回収したペットボトルの総量は約18万8千トンで、回収率は45.6%、前年度より5.5%向上しており環境に対する市民の関心の高まりが感じられます。



和太鼓の準備

午後4時過ぎ、出演者と来場者が一つになったの「よさこい鳴子踊り」で無事閉会となりました。長時間の勤務は少しきつかったが楽しく有意義な1日でもありました。

中古パソコンを譲って下さい

- ・目的 : グループ学習で、パソコン再利用の為の課題を検討する実験に使用します。(例)HDデータ消去、OSソフトの著作権対応など。
- ・パソコンの仕様については、OSがW98以降を希望しています。
- ・連絡先 : ご提供頂ける場合は、大変恐縮ですが、下記へお願いいたします。生環3年・パソコンリユースチーム : 谷垣健治 (Email : k-tanigaki@md.0038.net) (電話 <自宅> 078-582-1045)